

I 調査の概要

1. 調査の目的

児童、生徒及び幼児の発育状態及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の根拠

統計法（昭和22年法律第18号）及び学校保健統計調査規則（昭和27年文部省令第5号）による。

3. 調査の範囲・対象

(1) 調査の範囲

調査の範囲は、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）とした。

(2) 調査の対象

調査実施校数、調査対象数及び抽出率(千葉県)

(単位:人)

区 分	学校総数 校(園)	調査実施校数 校(園)	児童等総数 (A)	発育状態調査 対象者数 (B)	抽出率 B/A(%)	健康状態調査 対象者数(C)	抽出率 C/A(%)
小学校	864	64	337,457	6,037	1.80 %	36,710	10.90 %
中学校	407	44	161,139	5,265	3.30 %	21,634	13.40 %
高等学校	197	38	149,979	3,297	2.20 %	33,370	22.20 %
幼稚園	596	44	38,045	1,708	4.50 %	3,519	9.20 %

- 1) 学校総数、児童等数は平成18年度学校基本調査結果による。
- 2) 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する児童、生徒及び幼児のうちから年齢別男女別に抽出されたものを対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。
- 3) 幼稚園の児童等総数は「満5歳児」のみの人数。
- 4) 中学校には中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む。
- 5) 高等学校の学校総数及び児童等総数には「通信制課程」を含んでいない。

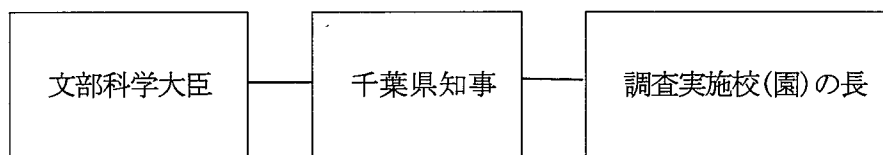
4. 調査事項

- (1) 児童、生徒及び幼児の発育状態（身長、体重及び座高）
- (2) 児童、生徒及び幼児の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、裸眼視力、色覚、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診における要精密検査者）

5. 調査の時期

調査は、学校保健法による健康診断の結果に基づき、平成18年4月1日から6月30日の間に実施した。

6. 調査系統



7. 利用上の注意

- (1) 統計表の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「－」―― 該当者がいない場合
 - 「0.00」―― 計数が単位未満の場合
 - 「…」―― 調査対象とならなかった場合
- (2) 平均値は、小数第2位を四捨五入した。
また、比率算出については、小数第3位を四捨五入した。
- (3) 健康状態調査については、平成18年度から調査対象校の全在学者を対象に調査を実施した。
- (4) この結果報告書の数値は、後日文部科学大臣が公表する数値をもって確定値となる。